

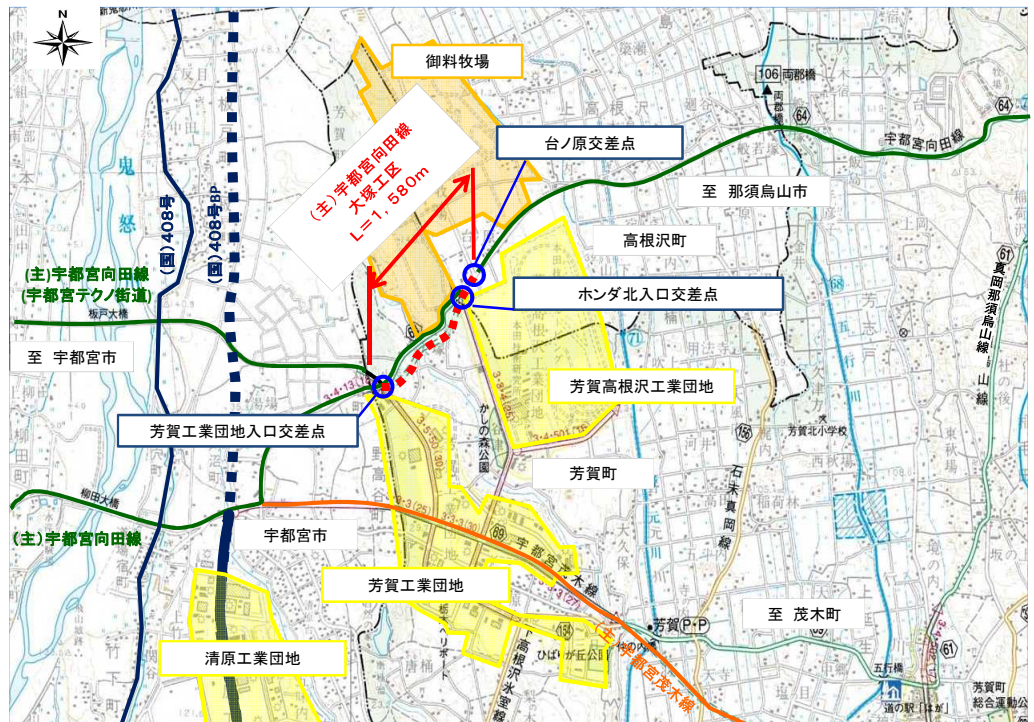
道路事業の再評価概要書

() は、当初計画時

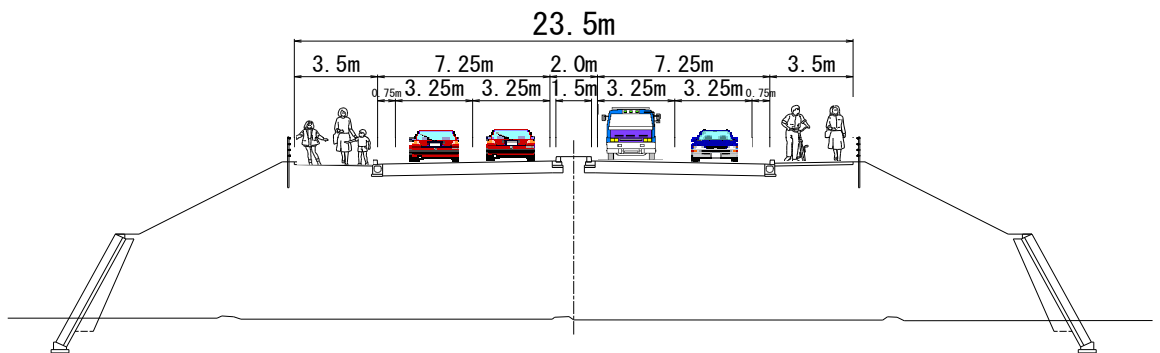
道 路 事 業 の 再 評 価 概 要 書			番 号	1
			事業主体	栃 木 県
事業名	快適で安全な道づくり事業		事業所管課	県土整備部 道路整備課
路線・河川名	主要地方道 宇都宮向田線		事業箇所名	はが 芳賀町・たかねざわ 高根沢町 おおつか 大塚工区
事業区間	はがまちおおつか たかねざわまちだいのほら 芳賀町大塚～高根沢町台ノ原		事業延長	1,580m
H18年度事業化			H19年度用地着手	H22年度工事着手
事業期間	(H27) H18年度～H32年度	事業 進 捗 状 況	基準年次：【平成 27 年度末時点】	
[うち用地補償費]	[10.0 (10.0)億円]		進捗率	
全体事業費	32.4 (32.4)億円		[うち用地補償費]	[9.1 億円]
			既投資事業費	20.0 億円 62%
事業概要				
<p>主要地方道宇都宮向田線は宇都宮市を基点とし、県東部地区と連絡する延長 35km の幹線道路である。また、県内産業団地の製造品出荷額の約 30%を占める鬼怒川左岸地域の工業団地群を連絡するとともに、現在、地域高規格道路として整備中の国道 408 号へのアクセス道路にもなっており、産業活動を支える上で欠かせない重要な路線である。</p> <p>しかし、朝夕の通勤時には交通容量の不足を原因とした激しい渋滞が発生しており、産業活動に大きな支障をきたしている。本事業は渋滞解消を目的に 4 車線化や右折レーンの増設等の対策を実施し、円滑な交通を確保するものである。</p> <p>平成 18 年度に事業に着手し、全体延長 1,580m のうち東側の 380m の交差点改良を優先し平成 25 年 3 月までに実施したところである。</p> <p>残る区間の 4 車線化等について、引き続き現計画での整備を進めるものである。</p>				
事業を巡る社会経済情勢の変化、事業計画の大幅な変更 等				
特になし				
事業の投資効果				
1 費用対効果分析結果		【総便益 (B)】	【総費用 (C)】	
(1) 事業全体 B/C = 1.2		39.3 億円	33.0 億円	
(2) 残事業 B/C = 3.5		39.3 億円	11.4 億円	
2 事業の整備効果等				
<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞解消 ・鬼怒川左岸地域の産業支援 				
事業の進捗状況等				
1 事業の進捗状況				
<ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年 3 月までに工区東側の 380m の交差点改良を実施した。 ・平成 26 年 3 月時点で用地取得は概ね完了しており、用地取得済の箇所から順次工事を推進している。 				
2 今後の事業進捗の見込み				
引き続き工事を推進し、平成 32 年度に完成供用を図る。				
コスト縮減等				
1 コスト縮減方策				
<ul style="list-style-type: none"> ・建設発生土(芳賀遊水地)を積極活用しコストを縮減 ・再生骨材、再生アスファルト合材を積極的に活用しコスト縮減 				
2 代替案立案等の可能性				
<ul style="list-style-type: none"> ・すでに大部分の用地を取得しており、本計画が最適である。 				
事業の対応方針 (案)		現計画で事業を継続する。		

事業箇所(位置図・概要図)

位置図



標準横断図



概要図

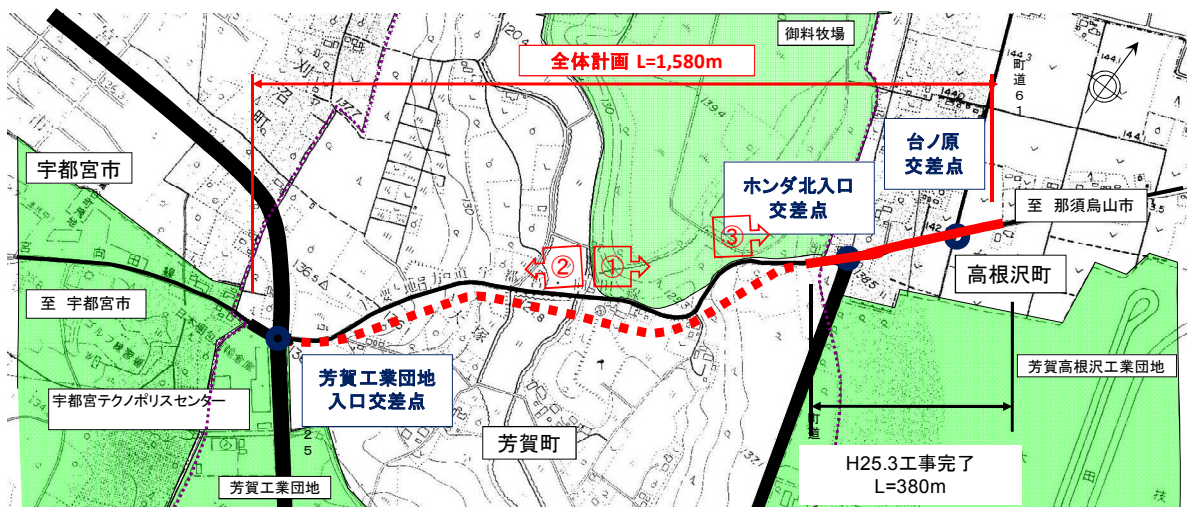




写真1: 渋滞状況①



写真2: 渋滞状況②



写真3: 供用区間【ホンダ北入口交差点】